MP3／WMA

HS709D-A
HS709D-W
HS309-A
HS309-W

MP3／WMA

MP3／WMAについて(1)

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

■MP3とは？

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

■WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

■再生可能なMP3／WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio＊1
対応サンプリング周波数	☞102ページ参照	☞103ページ参照
対応ビットレート＊2		

＊1印：●DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
●Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。

＊2印：●一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。
●VBRに対応しています。
●フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

■使用できるメディアについて

- MP3／WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。
  ※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。
- 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
  ※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■ファイル名について

- MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”／WMAの拡張子“WMA”が付いたものだけです。
- MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。
  ※拡張子名“MP3”／WMAは大文字でも小文字でもかまいません。

アドバイス

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
MP3／WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けないでください。
MP3／WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字、2.xは半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名です。

※WMAタグの表示可能文字数は半角32文字です。

※対応バージョンはVer 1.0／1.1／2.2／2.3となります。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、"Track at once"で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

※MP3／WMAファイルをDVDに書き込みしたディスクの動作保証はしていません。

■MP3／WMAの演奏時間表示について

MP3／WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

■使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるディスクのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1（＊）およびレベル2（＊）です。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。

上記フォーマット（＊）以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

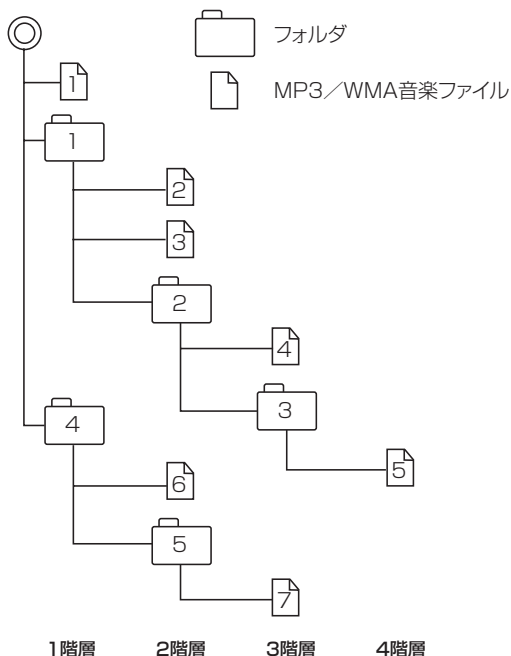
規格ならびに制限事項は次のとおりです。

項目	内容	機種
●最大フォルダ階層	：8階層	
●最大フォルダ名／ファイル名文字数	：全角32、半角64文字	〔HS709D-A／HS709D-W〕
	：全角32、半角32文字	〔HS309-A／HS309-W〕
●フォルダ名／ファイル名使用可能文字	：A～Z（全角／半角）、0～9（全角／半角）、_（アンダースコア）、JIS第一水準、ひらがな、カタカナ（全角／半角）	
●1フォルダ内の最大ファイル数	：255（ファイル数＋フォルダ数）	〔HS709D-A／HS709D-W〕
	：255（ファイル数＋フォルダ数）	〔HS309-A／HS309-W〕
●1メディア内の最大ファイル数	：フォルダ構造による	〔HS709D-A／HS709D-W〕
	：999	〔HS309-A／HS309-W〕
●最大フォルダ数	：127	〔HS709D-A／HS709D-W〕
	：255	〔HS309-A／HS309-W〕

- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト／m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。

MP3／WMAについて(2)

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

階層と再生順序のイメージ

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器（プレーヤー）によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7 の順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

■MP3／WMAファイルの作り方について

MP3／WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

□インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

□音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA形式のファイルに変換することで12cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明をご参照ください。)本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは"取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)"の項目にチェックを付けないでください。

□CD-R／CD-RWに書き込む場合

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

アドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3／WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3／WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行なっていないディスクは再生できません。

■MP3／WMAの再生について

MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)

MP3／WMAについて(3)

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数(kHz)		
16.000	–	○
22.050	–	○
24.000	–	○
32.000	○	–
44.100	○	–
48.000	○	–
ビットレート(kbps)		
8	–	○
16	–	○
24	–	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	–	○
160	○	○
192	○	–
224	○	–
256	○	–
320	○	–
VBR	○	○

※VBR：可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数（kHz）		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	–	○
ビットレート（kbps）		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	–	○
320	–	○
VBR	–	○

※VBR：可変ビットレート

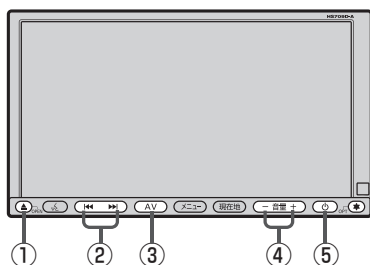
- **表示可能なID3／WMAタグ**
  Song Title、Artist Name、Album Title
  ※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。

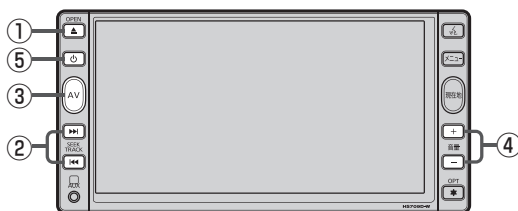
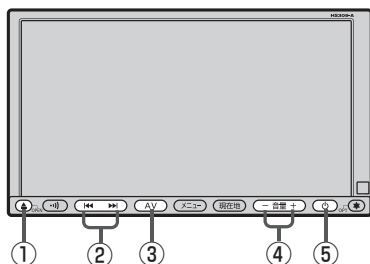
- **フォルダ番号、トラック番号について**
  演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- 64kbps以下のビットレートで再生されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- WMA9 Professional／WMA9 Losslessには対応していません。

各部の名称とはたらき

HS709D-A

HS709D-W

HS309-A

HS309-W

HS709D-A／HS709D-W
HS309-A／HS309-W

MP3モードTOP画面（詳細表示時（例））

① [▲] ボタン（OPEN）

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。

② [⏮／⏭] ボタン／
[⏮] [⏭] ボタン（トラック）

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し（⏮）／早送り（⏭）します。
（110、111ページ）

③ [AV] ボタン◎

- AV SOURCE画面を表示します。

※ナビゲーション画面／Radio／SD／USB／AUX／VTR／MUSIC STOCKER／TV／Bluetooth Audio／Photo／iPodモードからMP3／WMAモードに切り替えるときに使用します。

④ [－音量＋] ボタン／[＋] [－] ボタン（音量）

音量の増減を調整します。
－：音量を下げます。　＋：音量を上げます。

⑤ [⏻] ボタン（AV電源）

- AV電源をON／OFFします。
- 2秒以上の長押しで画面を消します。（23ページ）

⑥ [詳細] ボタン

トラックの詳細情報を表示します。（106ページ）

⑦ [トラック] ボタン

トラックリストを表示し、ファイル（曲）の選択が可能です。（115ページ）

⑧ [フォルダ⊖] ／ [フォルダ⊕] ボタン

前または次のフォルダを選択します。（109ページ）

⑨ [切替] ボタン☆

壁紙を表示させて音楽を聞くことができます。（491ページ）

⑩ [再生モード] ボタン

リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。（112～114ページ）

⑪ [Quick] ボタン

Quick MENUを使用することができます。（490ページ）

アドバイス

- 1枚のディスクに音楽トラックとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。
- ◎印：AV SOURCE画面のモードは型式によって異なります。☞ 18、20ページ参照
- ☆印：HS709D-A／HS709D-Wの場合

表示部(再生画面)について

表示内容につきましては112〜114ページを参照ください。

アドバイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)
- HS709D-A／HS709D-Wの場合、ファイル名／フォルダ名の最大文字数は全角32(半角64)文字です。
- HS309-A／HS309-Wの場合、ファイル名／フォルダ名の最大表示文字数は全角32(半角32)文字です。

※ファイルによっては最大文字数まで表示できない場合があります。

- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(アーティスト名／トラック名／フォルダ名／アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- アーティスト名／アルバム名が記録されていないディスクの場合は、“No Title”と表示されます。
- ☆印：HS709D-A／HS709D-Wの場合

MP3／WMAを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1 **パネルの［▲］ボタン（OPEN）を押す。**

：ディスプレイが開きます。

アドバイス

- CDディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。
- ディスク挿入口やパネルにつきまして詳しくは別冊の日産オリジナルナビゲーション（詳細版）☞37、44、45ページを参照ください。

2 **ディスク挿入口にMP3またはWMAのファイルが入ったCDを挿入する。**

：自動でディスプレイが閉じ、MP3またはWMAの再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ MP3／WMAモード画面でAV電源OFFにしていた場合

①パネルの［⏻］ボタン（AV電源）を押す。

：前回のつづきからMP3／WMAの再生を始めます。

□ ナビゲーション画面またはMP3／WMAモード以外のモード画面の場合

①パネルの［AV］ボタンを押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面（OFF含む）

②画面の［CD］ボタンをタッチする。

：MP3／WMAの再生を始めます。

AV SOURCE画面

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」24ページ／「映像の調整のしかた」25〜27ページ
「オーディオの調整をする」30〜41ページ

アドバイス

CDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」22ページ

MP3／WMAモードを終了する

1 パネルの ⏻ ボタン(AV電源)を押す。

：画面に"OFF"と表示されMP3／WMAの再生を止めます。

MP3／WMAディスクを取り出す

1 パネルの ▲ ボタン(OPEN)を押す。

：ディスプレイが自動で開きます。

2 パネルの ▲ ボタン(DVD／CDイジェクト)を押す。

：MP3／WMAディスクがディスク挿入口より出てきます。

アドバイス

- MP3／WMAディスクを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。
  ※再生中にACCを変更した場合は、次にACCをONにすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
  ※ ▲ ボタン(DVD/CDイジェクト)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクが入り本機にセットされ、再生が開始されます。

好きなフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 画面の フォルダ⊖ ／ フォルダ⊕ ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダ⊖ ボタンをタッチする。

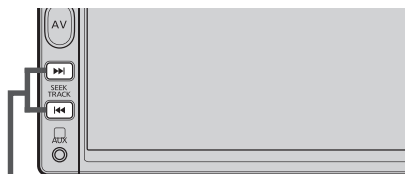
■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ⊕ ボタンをタッチする。

MP3／WMAプレーヤーを使う(4)

HS709D-A HS309-A
HS709D-W HS309-W

操作パネル上のボタンにて1ファイルずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 パネルの⏮／⏭ ／ ⏮ ⏭ ボタン(トラック)を押す。

：前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。

■ 前のトラックに戻る場合

⏮ボタンを2回押す。*
※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

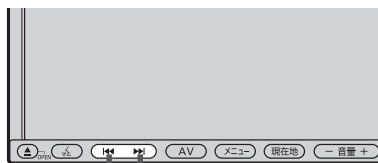
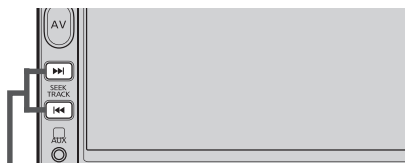
■ 次のトラックに進む場合

⏭ボタンを押す。

アドバイス

- 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。
「トラックリストより好きなファイル(曲)を選び再生させる」115ページ
- ＊：トラック再生開始3秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

早戻し／早送りをする

1 パネルの[⏮／⏭]／[⏮] [⏭]ボタン(トラック)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

⏮ボタンを押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭ボタンを押し続ける。

それぞれのボタンから手を離したところで通常再生を始めます。

MP3/WMA 〔パネルにて一曲ずつ選曲〕／〔早戻し／早送り〕

再生モードを選択する(リピート／ランダム／スキャン再生)

再生モード(リピート／ランダム／スキャン)を選択することができます。

1 画面の 再生モード ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

MP3モード TOP画面(例)

手順 2 で選択した再生モードが表示されます。

2 再生したいモード(リピート ／ ランダム ／ スキャン ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① リピート ボタンをタッチする。

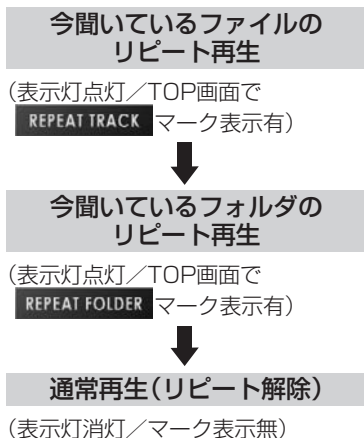
再生モード選択画面

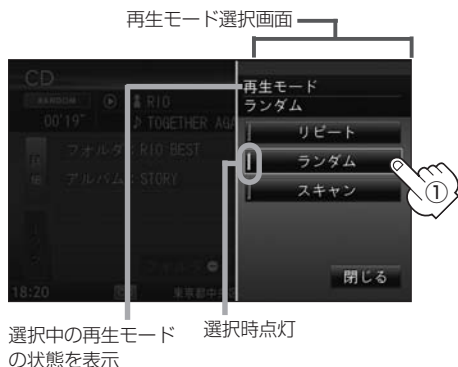
再生モード
リピートトラック
リピート
ランダム
スキャン
閉じる

選択中の再生モードの状態を表示

選択時点灯

：表示灯点灯し、リピート再生されます。

● リピート ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① ランダム ボタンをタッチする。

現在再生しているフォルダのランダム再生となります。

：表示灯点灯し、現在再生しているフォルダの中から順序不同で再生します。

● ランダム ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

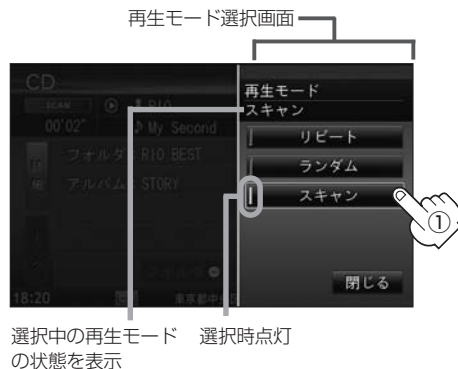
通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるため同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① スキャン ボタンをタッチする。

今聞いているディスク内の曲のスキャン再生となります。

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒間再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

● スキャン ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

3 設定を終わるには…

画面の 閉じる ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。

アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

トラックリストより好きなファイル(曲)を選び再生させる

ファイル(曲)を一覧表示させ、再生させることができます。

画面の トラック ボタンをタッチする。

：再生しているフォルダのファイル(曲)が
トラックリストに表示されます。

MP3モード TOP画面(詳細表示(例))

MP3／WMAモード TOP画面は選択するボタン(詳細 ／ トラック)によって詳細表示／トラックリスト(ファイル(曲))表示となります。

MP3モード TOP画面(例)

詳細表示

MP3モード TOP画面(例)

トラックリスト(ファイル(曲))表示

※すでにトラックリスト(ファイル(曲))表示になっている場合は上記手順 1 を省略することができます。

2 再生したいファイル(曲)をタッチする。

：選択したファイル(曲)が再生されます。

トラックリスト(ファイル(曲))表示時(例)

▲／▼ボタンタッチでページ戻し／送り表示

TOP画面を詳細表示に戻したい場合は 詳細 ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)